

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和 2 年 1 月 9 日 (木) ～ 10 日 (金)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	全国市町村国際文化研究所 令和元年度市町村議会議員研修 「防災と議員の役割」
3 参 加 者	渡部 昇 片山 竜美
4 調査・研修の テーマ	防災と議員の役割
5 主な内容	・「地域防災力を向上させるために」首都大学東京 中林一樹名誉教授 ・「平時の防災と議員の役割」 鍵谷 一氏、湯井恵美子氏 ・「災害弱者への対応～熊本地震における経験より～」 熊本市議会 村上 博議員 ・「災害時・復旧・復興期の議員の役割」 鍵屋 一氏、湯井恵美子氏 ・「ふりかえりとまとめ」 鍵谷 一氏、湯井恵美子氏 ・全国の取り組みから学ぶ
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】渡部 昇 *近年災害の複合化が多く発生、高齢者が多く被災している高齢者への対応や避難所の整備など大災害時を想定した取り組みが重要である。 *危機管理とはリスク管理である、リスクの対応をいかにするか、災害発生時も発生後も顕在化するリスクを創造し最適な予防策・対応策を工夫していく事が大事である。 *災害に強い地域とは①危機を引き起こさない②危機を拡大させない③素早く復興できる、予防力(事前防災)、対応力(減災対応)、復興力(復旧・復興)があれば市民の方達も一緒に災害対応ができるのでは。 *大地震の時、高齢社会の災害で重要な事は、災害関連死を防ぐこと、災害後の避難生活の困難さで、体調が急激に悪化するなど、被災者への避難所での対応が大切である。 *地域防災の決め手は隣近所の方が一番大切である、日頃より常に声をかけ合い、何かあったら助け合う気持ちを持ち災害時は必ず確認していく、その行動が地域防災の決め手である。

6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】片山竜美 * 高齢社会のため、災害時における関連死が増加している。これを減らすための対策が必要である。そのために、被害想定をしっかりと行っておくことが大切である。 * 現実的な防災訓練が必要であると感じた。障がい者や高齢者は誰がどの様に避難させるのか、前もっての訓練をするべきである。 * 地区防災計画作成には、仲間とともに心を入れ、しっかりとした形を作り、訓練、見直しが大切である。議員として率先して計画作成にかかわっていかなくてはならないと思った。 * 災害時議員は、徹して地域に入り、地域の方と復旧・復興のために働くべきである。また、市の取組には全力でサポートし、あれこれ口出しすることは市民のためにもよくないことを学んだ。 * 鍵屋氏は「障がい者や高齢者などの災害弱者の避難は、直接福祉避難所へ行くべきである」と発言された。これは私が一般質問した内容と合致する。災害時対応のプロの発言は重い。市にさらに訴えていきたいと思った。 * 防災の決め手は「ご近所力」まさに地域のコミュニティが重要である。地域力を高めるために議員として何ができるか。常に考え行動していきたいと思った。 * 鍵屋氏はこれからの防災は、「課題解決・損失を減らす防災から、『価値創造の防災』へ」と結論付けられた。日常から人間関係、近所関係を良好にし、排除される人がいない、魅力ある地域を作ることが災害や危機にも強くなるとのことである。「価値創造」の防災を目指して全力で取り組みたいと決意も新たにした。
----------------------	--